

1. 海外出張での取組

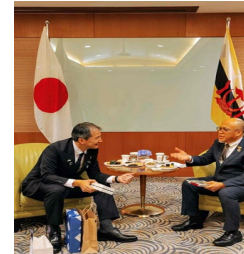
- 鈴木農林水産大臣がマレーシアを往訪。5月1日（金）に、農業生産に欠かせない肥料原料である尿素を供給する国営企業ペトロナス社※の幹部と会談。先方から安定供給の確約を得るとともに、さらに長期間の契約について検討を依頼。今後、同社と輸入事業者間で協議。ナフサ及び原油の引き続きの安定供給についても確認。

※ 我が国が肥料原料とする尿素の74%はマレーシアからの輸入であり、そのほぼ全量を同社が取り扱っている。

- 広瀬農林水産大臣政務官がブルネイを往訪。4月24日（金）に、ブルネイ1次資源・観光大臣と会談し、LNGの安定供給について協力を依頼。



【マレーシア】
ペトロナス社
サザリ上級副社長との会談
(5/1)



【ブルネイ】
マナフ1次資源・観光大臣
との会談 (4/24)

2. 供給の偏り・流通の目詰まりの解消に向けた取組

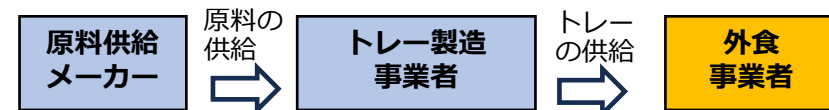
- 農林水産業・食品産業のサプライチェーンの上流から下流に渡り利用されている多種多様な資材について、流通構造等の実態把握を順次実施中。
- 実態把握を通じて得られた情報や相談窓口寄せられた情報に基づき、経済産業省と連携して、供給の偏り・流通の目詰まりを解消。直近では、一番茶のシーズンを迎えた茶製造に必要な燃油を、産地の茶工場に供給。
- 外食事業者において、持ち帰り商品向けのトレーが不足しているとの情報があったことを受け、供給の偏り・流通の目詰まりの解消に向けて、経済産業省と連携し、関係事業者へ供給の働きかけを実施。

【茶工場への燃油供給】



- 一年を通じて最も重要な一番茶のシーズンを迎えている中、4月に実施した茶工場への供給に続き、新たにお茶産地の茶工場などから「5月上旬に燃油が足りなくなる」との御相談
- 経済産業省と連携して石油元売会社との調整を加速し、燃油確保に不安のあった茶工場への燃油の供給が決定

【持ち帰り商品向けトレーの不足への対応】



- 経済産業省と連携して、原料等の供給状況を確認し、原料供給メーカー等に安定供給の働きかけを実施